

令和 5年 8月 9日

守谷市議会議長 殿

委員長： 渡辺 大士 印

報告者： 首藤 太亮 印

保健福祉常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	2023/8/9
視察・研修場所	一宮市役所・中央子育て支援センター
視察・研修項目	子育て支援関連事業について
参加者	守谷市側 渡辺委員長 田中副委員長 海老原委員 首藤委員 高梨(恭)委員 高梨(隆)委員 高橋議長
	相手側 保育課井川 保育課長後藤 議会事務局白木・奥田
視察・研修目的	中央子育て支援センターの施設について
視察・研修内容	<p>・施設設置の目的・経緯について 設置目的 中央市街地であり交通結節点であるiビルに子育て支援拠点を設置し子育て支援の拡充を図る 経緯 一宮駅のリニューアルにあたりどのような施設を入れるかとアンケートを取った結果前市長が子育て支援に力を注いでいたことも併せ中心街であり、交通結節点であり交通の便も良いことから子育て支援センターを作った</p> <p>・中央子育て支援センター施設事業内容 「あそびの広場・おうち」の利用要件及び実績について 【利用要件】</p>

対象 未就学児のお子さんと保護者

登録・予約 必要なし

利用時間 制限なし（開所時間9時～17時）

利用料 無料

【実績】令和4年度来所者 42,440人

「子ども一時預かり施設」

対象者 保護者が一宮市に居住するおおむね生後6か月を経過した小学校就学前の児童

事前登録 なし、利用日の一ヶ月前から電話又は直接予約可  
預かり時間 1日1回最大4時間まで1時間 500円

定員 6名

【実績】令和4年度利用保護者 1712人

・子育て支援センター「うごく子育てサロン こっこ」事業内容について

事業開始の目的・経緯について（施設型との違いを含めて）  
平成17年に近隣2市1町が合併それに伴い常設の子育て支援センターと民間の子育て広場のある場所に偏っていた為既存の公共施設を利用して15か所で支援を行う拠点を設け交通弱者や子育てで孤立が無いようにしている

【利用要件】常設センターと同じ

【実績】

訪問箇所 15か所（公共施設）

頻度 毎月1回

参加者令和4年 4102人 各施設平均22人

・ファミサポ事業について

【事業概要】

アドバイザーが援助会員（育児の援助をしたい方）と依頼会員（育児の援助をして欲しい方）をつなげ預かりや送迎等の援助をしている

依頼会員 市内在住・在勤・在学で0歳から小学校6年生までの子供がいる方

援助会員 市内在住

<p>視察・研修総括 (今後の取組み 等)</p>	<p>子育て支援を考え交通の利便性や支援を第一に考え駅前や市内各所 15 か所に支援センターを作るなど今後町全体で子育てを支援する動きは少子高齢化の現代において最重要項目であると感じた、交通手段のない子育て世帯など孤立を避け地域で子供を育てるための活動の根本になる支援センターは守谷市にも必要になってくると思われる。</p>
-----------------------------------	--